

令和2年度 学校自己評価書

小美玉市立納場小学校 校長 横山 英幹

1 今年度の取組みの概要

かがやく納場っ子の育成：かがやく瞳 がんばりぬく姿 やさしい心 くふうするかしこい頭
(体) (徳) (知)

- 「がんばりぬく姿」の育成
 - ・運動量を確保した体育授業の充実（30分の活動時間確保） ・体力づくり運動の推進
 - ・規則正しい生活習慣づくり ・健康教育，安全教育の充実
- 「やさしい心」の育成
 - ・学級経営の充実（いじめ重大事態0） ・道徳教育の推進 ・自主性を育てる特別活動の推進
 - ・読書活動の充実（50冊読破） ・体験活動の充実 ・気持ちの良い挨拶
- 「くふうするかしこい頭」の育成
 - ・基礎・基本の定着 ・学ぶ意欲と学習態度の育成 ・学習の習慣づくり
- 開かれた学校づくりの推進
 - ・地域人材を生かした教育活動の充実 ・保幼小の連携 ・HPの充実
- 信頼される教職員集団の育成
 - ・研修の充実・インクルーシブ教育の推進 ・感染症対策の徹底・コンプライアンス意識の高揚

<達成度 A：十分に達成 B：おおむね達成 C：達成せず D：課題が残る>

◎ 組織目標1についての具体的な取組み

組織目標1	体力や自己管理能力を高めることを通して，健康で活力のある児童を育てる。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
○運動量を確保した体育授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・朝ランニングの実施 ・業間運動の工夫（持久走，なわとび） ・体力差，技能差に応じて選択できる授業の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テスト（未実施） ・「進んで体力づくりをするよう指導している」 93.3%（自己評価） ・「運動をすることが好きですか。」 88.0%（児童） 	A
○安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な避難訓練の実施と工夫改善 ・登校班集会の実施 ・朝の立哨と下校時の巡視 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が危険予測をする力を高める指導の工夫 ・「安全に登下校できているか。」98%（保護者） 	A
○健康教育の充実と生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師の活用 ・養護教諭による保健指導 ・早寝早起き朝ご飯の奨励 ・栄養教諭による食育指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止教室（6年） ・生教育講演会（5年） ・食べ物教室（全学年） ・朝食摂取率 96.0%（児童） 	A

◎ 組織目標2についての具体的な取組み

組織目標2	進んで関わり合う活動を通して，思いやりのある心豊かな児童を育成する。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
○道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業の公開 ・考え議論する道徳の実践 ・人権集会の開催 ・異学年交流，ペア学年交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割演技や議論する道徳の授業の実施 90.9%（自己評価） ・「優しい言葉かけができています。」 94.0%（児） 87.0%（保） ・「ルールを守った生活」 92.0%（児），90.0%（保） 	A
○学級経営の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめを生まない学級経営 ・生活アンケート（毎月） ・Q-Uテストの活用（年1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校は楽しい」 96.0%（児） 90.0%（保） ・毎月の生活アンケートの実施 ・継続して指導が必要ないじめ案件は「0」である。 	A
○体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労体験（稲刈り，脱穀） ・老人福祉施設等との交流 ・保幼小交流 ・読書活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労体験の工夫改善 ・4年生のお弁当包み紙作成 ・福祉施設交流は中止 ・幼小交流 3回 ・50冊読破 79.2% (4～6年合計) 	B

◎ 組織目標3についての具体的な取組み			
組織目標3	「主体的・対話的で深い学び」の授業を通して、基礎学力の向上を図る。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
○基礎的・基本的な知識・技能の定着	<ul style="list-style-type: none"> 自分の言葉でまとめる振り返り時間の設定 「学び合い」による交流の充実 学習形態の工夫 I C Tの効果的活用。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業における「学び合いの場」の設定 81.3%（自己評価） 「自分の意見や考えを進んで発したか。」75.0%（児童） 感染症予防のため工夫した学習形態が作れなかった。 	B
○分かりやすい授業への改善	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業→研究協議会の実施 講師を招いての校内研修の実施 I C Tを活用しての提案授業 	<ul style="list-style-type: none"> 「授業は、分かりやすい。」97.0%（児）、90.0%（保） 「学校は、児童が学び会えるような授業を行っている。」86.0%（児童）89.0%（保護者）81.3%（自己評価） 	A
○学習の習慣づくり	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習強化月間の実施 休校期間のプリント学習やオンライン学習の実施 家庭学習カードを活用しての家庭との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 「宿題や家庭学習をする習慣が身につけている。」90.0%（児童）84.0%（保護者） 休校期間のプリント学習やオンライン学習（各学年） 	A

2 今年度の成果と次年度に向けた課題

（成果）

- 朝読書により落ち着いた雰囲気の中で朝の会、1時間目がスタートできている。
- 読書活動の充実に向けて、学校図書への補充、図書委員と高学年による読み聞かせの実施、読書意欲を喚起する掲示物の作成、たくさん読んだ児童へ葉（キャラクター）のプレゼント、などに取り組み、児童の読書意欲の高揚を図った。特に葉のプレゼントが効果的であった。
- 多くの児童が、「みんなにすすめたい一冊の本」推進事業で目標としている50冊を読破することができた。
- コロナの影響で、授業の中で自分の考えを交流する「学び合い」の場が十分確保できなかったが、時間や形態を工夫し、交流の場をもてるようにした。
- コロナの影響で、体力テストが実施できなかった。昨年度の課題を職員で共有し、体育の授業で効果的な運動を取り入れ実施した。
- 登校後すぐにランニングや縄跳びなどに取り組む児童が増えた。
- I C Tサポーターと連携を図り、タブレットやコンピューターを活用した授業が展開され、児童が意欲的に学習に取り組めた。

（課題）

- コロナ禍で「主体的・対話的で深い学び」をどのように実現していくかが課題である。情報を集め、学校全体で共有しながら研修を進めていく必要がある。
- 休校期間に抜けてしまった内容は補充ができたが、基礎基本の定着に課題がある。家庭とも連携し、各学年で定着が不十分であった学習事項を補充していく必要がある。
- 投力や柔軟性を高める運動に課題があるので、授業の中でそれを高めるための具体的な運動を位置づけていく。

3 保護者や地域の皆様へ

- 保護者の皆様、地域の皆様、日頃より本校の教育活動に深いご理解とご尽力を賜り誠にありがとうございます。おかげさまで児童は安全安心で楽しく、充実した学校生活を送ることができました。
- ◎ 総合的な学習の時間の一環として実施している米作りでは、米作りボランティアやPTAの方のご尽力により、児童は稲刈り、脱穀などの貴重な体験させていただき、米づくりの大変さなどを学ぶことができました。田植えと「納場っ子 夢未来フェスタ」はコロナの影響で本年度は中止としました。収穫した米の一部は「おかき」に加工して美味しくいただきました。また、残った米に関しては、販売して売り上げ金で、逆上がり補助器を購入しました。
 - ◎ 登下校のボランティアの皆様には、年間を通し児童の交通安全のためにご尽力いただきありがとうございます。おかげさまで大きな事故やけがもなく安全に登下校することができました。
 - ◎ 金管バンド部については、本年度は運動会のみでの演奏になってしまいました。昨年まで参加していた地域や学校行事がコロナのためになくなり、参加できなかったのは残念ですが、練習方法を工夫し、最後に保護者の皆様に発表できたことは大きな励みとなりました。
 - ◎ 「納場地区教育振興後援会」の皆様には、学校の教育振興のためにご尽力いただきありがとうございます。おかげさまで授業を始めとして運動会などの学校行事や環境整備、金管バンド部の楽器購入などに活用させていただいています。
- 令和3年度も保護者の皆様や地域の皆様の忌憚ないご意見をもとに、よりよい教育活動ができますように、職員一同努力してまいります。今後とも、本校の教育力の向上、発展に一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。